今回はタミヤの新作である、英マークIV菱形戦車を担当させて頂きました。あくまでテストショットである為、モーターライズの機構は組んでいない事と、細部が製品版と異なる可能性がある事はご承知下さい。

タミヤのキットですから、組立はストレスフリーで部品の合いも良く、問題となりそうな処はありません。強いて言えば、車体の左右に張り出しているスポンソンから飛び出している機銃ボールマントの接着には少しだけ注意が必要です。ボールマウントのボールを押さえる部品は内側からの接着ですが、今一接着シロが小さいように感じました。とはいえ多めに接着剤を流すとボールマウントが動かなくなってしまい、悩ましい処です。他、長大でコマ数の多い履帯は嵌め込み式で、パチパチと気軽に組んで行けます。

元々第二次大戦の車両と比べると、車体の大きさの割に一つ一つの面が大きく、かなりノッペリとした車両なので、塗装は単調にならないように気をつけました。キツめのグラデーションをかけた上で、ウェザリングで馴染ませるような感覚で塗装しています。尚、可動の兼ね合いかキャタピラはABSなので、迂闊にシンナーを使用する塗料で塗装をすると割れかねません。今回はアクリル系であるファレホのプライマーを吹いた後、同じくファレホの黒を吹きつけ、あとはひたすらにピグメントで汚しています。ファレホから発売されている定着剤は使い勝手が良くおススメです。

フィギュアに関してですが、かなり出来が良いと感じました。特に杖をもった士官は顔の出来、服の皺の入り方等絶品です。如何にも英国人らしく、髭が生えているのが芸コマでしょうか。こちらも塗装はファレホ。第一次大戦時の英陸軍の緑とも茶色ともつかない独特のカーキ色、なんとか近付けたと思っていますが如何でしょうか？